

学食開店 ボリューム満点 叡啓大、ビーガンにも対応 = 広島

2023/11/02 大阪読売新聞 朝刊 20ページ 465文字

県立の叡啓大（広島市中区）で1日、学生食堂「E U H Cafeteria（カフェテリア）」がオープンし、多くの学生でにぎわった。イスラム教の戒律に沿うハラールやビーガン（完全菜食主義者）にも対応しており、今後は一般への開放も検討する。

学舎15階に設けた学食は、介護施設や病院に食事を提供する会社「ラフ」（同市西区）が運営を担う。日替わりランチ（440円）や牛丼（400円）、かけうどん（260円）など約30種類のメニューがあり、気軽に食べられるよう価格は全て500円未満に設定。ハラールやビーガンに対応したメニューには専用マークが付いている。

この日、食堂で開かれたオープニングセレモニーには、有信睦弘学長や同社の品川明日香社長らが出席。品川社長は「学食は学生の日常を支える重要な場所。学生の健康と幸せに貢献したい」と祝辞を贈った。

早速、日替わりランチを食べた叡啓大2年の本田そらさん（19）は「価格は安いし、ボリューム満点でおいしい。どんどん利用したい」と喜んでいて。

写真 = オープンした学食で食事を楽しむ学生ら（広島市中区で）

本サービスで提供される記事、写真、図表、見出しその他の情報（以下「情報」）の著作権その他の知的財産権は、その情報提供者に帰属します。

本サービスで提供される情報の無断転載を禁止します。

本サービスは、方法の如何、有償無償を問わず、契約者以外の第三者に利用させることはできません。

Copyrights © 日本経済新聞社 Nikkei Inc. All Rights Reserved.